

第 2 期寒河江市役所地球温暖化対策実行計画（事務事業編）

2022年度（令和4年度）取組状況

本市では、平成24年4月に策定した計画を見直し、平成30年5月に第2期寒河江市役所地球温暖化対策実行計画（事務事業編）（以下「第2期計画」）を策定しました。

第2期計画では、本市の事務事業に伴って排出される温室効果ガスの総排出量を基準年度（2013年度・平成25年度）と比較して、2030年度において38.9%削減することを目標としています。

2021年度（令和3年度）の温室効果ガスの総排出量は、7,357 t-CO₂となり、基準年度比18.68%（1,740 t-CO₂）削減、前年度比1.83%増加（136 t-CO₂）となりました。

温室効果ガスの総排出量が前年度と比べ減少することとなった要因は、2020年度及び2021年度と比べ、積雪量が少なかったことにより、除雪車の軽油使用量及び各施設灯油使用量が減少したことに加え、照明及び冷暖房の適正な使用等に努めたことが考えられます。

引き続き、電気使用量、庁舎等燃料使用量等の適正使用及び削減に努め、第2期計画の目標達成に向け、取り組んでまいります。

（単位：t-CO₂）

項 目	排出量			
	2013年度 (基準年度)	2020年度	2021年度	2022年度
電気の使用	6,483	5,063	5,556	5,505
庁舎等燃料の使用 (灯油、A重油、LPG、都市ガス)	2,414	1,932	1,602	1,451
車両燃料の使用 (ガソリン、軽油)	150	165	156	131
下水・浄化槽の処理	258	272	253	266
その他 (自動車走行距離等)	8	4	5	4
合 計	9,313	7,436	7,572	7,357

※ 温室効果ガスの総排出量の算出は、最新の排出係数（変動係数）を使用しております。

※ 目標達成に向けた取組の成果を把握できるよう、参考として基準年度の排出係数（固定係数）を用いた数値を使用し算出すると、8,664 t-CO₂となり、基準年度比7.0%（649 t-CO₂）削減となりました。